

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年4月4日 (木)

NO. 949号

本号3頁

安倍 9 条改憲阻止・消費税 10%増税反対 定例国会行動 200 人が参加！

国民大運動実行委員会・安保破棄中央実行委員会・中央社会保障推進協議会の3者で国会開会中に隔週で開催しています「定例国会行動」が4月3日お昼、衆議院第二議員会館前で開催され、200人が参加しました。

冒頭、駆けつけた日本共産党の藤野保史衆院議員が国会報告を行いました。国会報告後、全国生活と健康を守る会の代表が、当日集まった消費税増税反対等の署名を、藤野議員に手渡しました。

次に、全労連の小田川義和議長が主催者あいさつを行い、安倍政権が改元ムードを利用し、景気の悪化、森友・加計疑惑などにふたをしようとしていると批判。「二つの衆院補選と参院選で安倍政権に明確な無審判を下そう」と呼びかけました。



その後、憲法会議の高橋事務局長と、福祉保育労の澤村直書記長が決意表明を行いました。憲法会議の高橋は、4月1日の安倍首相が記者会見で、新元号に「人々が美しく心寄せ合う中で文化が生まれ、育つという意味が込められている」等と語ったことにふれ、「沖縄に心を寄せることなく辺野古の海に土砂を投入し続け、ジュゴンを殺した安倍首相に『美しい日本』と唱えてほしくない」と批判。そして、「平成が良かったのは戦争がなかったこと。令和も戦争が起きない時代にしなければなりません。そのためには、安倍9条改憲を阻止することです」と訴え、安倍首相や自民党の改憲策動と憲法審査会を巡る動きを紹介し、「今通常国会では憲法審査会を開催させないことが大事。木曜日開催ですので、残

されたのはあと9回くらい。3000万人署名を早期に達成させるとともに、『憲法審査会を開くな』の声を大きくして行きましょう」と訴えました。

最後に、安保破棄中央実行委員会の東森英男事務局長が行動提起を行い、9の日宣伝、19日の国会前行動、そして5月3日の集会など、一つひとつを成功させていくとともに、統一地方選挙・参院選の勝利めざして奮闘しようと呼びかけました。

衆院憲法審査会 4日も開催させず！

衆議院憲法審査会の開催に向けて、自民党の森英介会長は3日、日程を協議する懇談会を開くよう呼びかけましたが、立憲民主党や日本共産党などは応じず、引き続き見通しは立っていません。

衆議院憲法審査会長の自民党の森英介氏は、4日にも審査会を開催したいとして、3日、与野党の幹事らに、改めて懇談会での日程協議を呼びかけました。これに対し、自民・公明両党と、日本維新の会、希望の党、それに、衆議院の会派「未来日本」は応じたものの、立憲民主党や国民民主党、日本共産党などは、与野党の合意がないとして応じませんでした。

そのような中で、与党側の筆頭幹事を務める自民党の新藤氏は2日、記者団に対し、「国民投票法の改正案が提出されたあと、3つの国会に及んでもまだ審議されておらず、理由がよくわからない

いまま放置されていることは受け入れられない。憲法審査会が前に進むよう、野党側は、まず話し合いの場に出てきてもらいたい。来週、審査会が開けるよう努力していきたい」と述べています。また、3日の与党と維新の会の幹事らによる意見交換会では、「そろそ（野党抜きで開催を決断する）潮時が来ているのではないか」との声があがったと報道されています。

臨時国会閉会日に開かれた衆院憲法審査会での「謝罪」を忘れたのでしょうか。強引なやり方で憲法審査会を開催すべきではありません。ましてや、自衛隊員の募集にかかわる安倍首相の改憲についてのウソ発言のもとでは、憲法審査会ではまともな論議に入れるわけがありません。憲法審査会を開催すべきではありません。

伊丹空港にオスプレイが緊急着陸 **繰り返す墜落・緊急着陸！**

1日午後2時前、伊丹市の大阪（伊丹）空港に、米軍の輸送機オスプレイが緊急着陸しました。滑走路が前後20分ほど閉鎖されました。防衛省近畿中部防衛局によると、オスプレイは米軍普天間基地の所属で、オスプレイは岩国基地から厚木基地に向かう途中でした。乗組員3人で、けがや機体の損傷はなかったとしています。理由は確認中しています。



国土交通省大阪空港事務所によると、パイロットから「緊急着陸したい」と連絡があり、同事務所が着陸に合わせて滑走路を閉鎖し、オスプレイはB滑走路に降り、駐機場まで自走で移動しました。

米軍普天間基地所属のMV22 オスプレイが2016年以降だけでも2回墜落していますし、6回も緊急着陸しています。そして、同機の事故率は高く「極めて危険」と指摘されています。国民の命と安全を守るには、全てのオスプレイの飛行中止と撤去が求められます。

安保破棄中央実行委員会「オスプレイの配備の撤回を求める」談話を出す！

4月2日、安保破棄中央実行委員会は東森英男事務局長の談話を発しました。談話では繰り返された緊急着陸に抗議し、世界に知られた欠陥機であるオスプレイの飛行を繰り返す米軍と、それを容認する安倍政権に対して厳重に抗議し、飛行の中止と配備の撤回を求めています。

オスプレイが開発段階から重大な事故を繰り返し、これまでに40人以上の米兵の命を奪っていること等を指摘。さらに、千葉・木更津の工場に入ったオスプレイが整備に2年以上かかるという事態に構造上の欠陥があらためて指摘されているとも。そして、「このような欠陥機の配備を続け、全国で飛行、訓練を行なわせ、国民の命と安全を脅かすことは断じて許されない」とし、さらにオスプレイ17機を購入して日本版海兵隊の輸送に当てようとしていることに対して、「世界でただ1国、日本だけが欠陥機オスプレイを購入することは異常と言わなければなりません」と批判。「私たちは、在日米軍オスプレイの飛行中止と配備撤回と、自衛隊による購入を中止するよう強く求めます」と訴えています。

令和が「世界の平和、世界の幸せ」の時代になるように！

そのためには、安倍9条改憲阻止を！

新元号が発表されましたが、安倍政権が発表を「政治ショー化したことは問題だ」と不愉快間を示す方が多いようです。様々な方が新聞等にコメントを寄せていますが、朝日に掲載された瀬戸内寂聴さんの「今の世の中の状態だと、新しい元号の時代に戦争が起きないか不安です。物心がついたころ、昭和のはじめは戦争でした。地元の徳島の女学校のとき、修学旅行で行ったのは満州でした。（中略）これからの時代は、日本で暮らす外国人が増えてくる。日本だけ、日本人だけよければ、ではだめ。『人間』の幸せを考えなければいけない。世界の平和、世界の幸せ。令和がそんな時代になることを願っています」のコメントに「そうだ」と思った方も多いことと思います。

また、日本共産党の志位和夫委員長は1日、党本部で記者会見し、新元号の発表に際して談話を発表しました。そのなかで、「元号は、もともと中国に由来するもので、『君主が空間だけでなく時間まで支配する』という思想に基づくものである。それは日本国憲法の国民主権の原則にな



じまないものだと考えている」と批判し、一方で「国民が元号を慣習的に使用することに反対するものではない。同時に、西暦か元号か、いかなる紀年法を用いるかは、自由な国民自身の選択にゆだねられるべきであって、国による使用の強制には反対する」と語りました。

さらに、元号について、2・11「建国記念の日」反対集会で講演された明治大学平和教育登戸研究所の渡辺賢二氏は、「天皇は神だということを作るために、1868年、明治維新になってはじめて、一世一元の制がしかれました。これまでの改元などというのは、天災によって変えたり、いろいろなことで元号が変わりました。天皇が死んだらすぐ変わるなどということでもなかったのです。それが1868年から、一世一元の制という形で作り上げられた、そうした新しいものでした。1868年には皇室典範というものを作って、皇室は普通の国民とは違うのだというやり方ほりました」と語っています。(月刊憲法運動4・5月合体号に掲載)

一日中政治ショーが展開し、皇室を政治利用し、政権の支持率アップを狙ったのではあれば、厳しく批判されなければなりません。そして、私たちは国による元号使用の強制には反対しなければなりません。さらに、何よりも瀬戸内氏が願うように、令和が「世界の平和、世界の幸せ」の時代になるよう、安倍9条改憲阻止を目指して頑張らねばなりません。

各地のとくくみ

東京・港 品川駅頭で宣伝・署名行動 千ラシ 1000枚

みなと総がかり行動実行委員会と東京1区市民連合は3月19日、品川駅港南口で宣伝行動を実施し25人が参加しました。署名ハガキ入りのティッシュが人気で、用意した1000枚すべてを配布しました。署名は19筆集まりました。

学者や弁護士、労働組合の代表が、自民党改憲4項目をはじめ、9条、教育問題など、憲法にかかわる課題でリレートーク。若い方2人がやってきて、「安倍政権が嫌い」と言い署名していくなど、街の反応もいいです。

みなと総がかり行動や東京1区市民連合は、19日や29日など、9がつく日を中心に、宣伝を展開しています。大人数で行うと、署名が多く集まるのが特徴です。



<東京 憲法ニュース 436号より>

東京・新宿 ウェットティッシュが若者に人気!

「みんなの新宿をつくる会」は3月20日、高田馬場駅前で宣伝行動を実施し、26人が参加しました。東京憲法共同センター作成のウェットティッシュ400枚を配布し、署名40筆を集めました。

宣伝は、新宿区労連をはじめ、区内の様々な団体、区議会議員がリレートーク。普段ティッシュを受け取らない若い人たちが、ウェットティッシュだと受け取ってくれ、ウェットティッシュを受け取るついでに署名していく人もいました。いつもの宣伝では20筆程度ですが、今回の宣伝はいつもの倍も集まりました。

「みんなの新宿をつくる会」は、毎月の宣伝とあわせ、区内団地でローラー作戦も実施しています。3月30日には、新しい署名ハガキを活用して、ローラー作戦を行いました。

<東京地評改憲阻止闘争本部ニュース 67号より>

民医連 戦争法廃止流山連絡会おおたかの森駅で定例署名宣伝行動

<民医連新聞4月1日号 山縣良一通信員発>

当院も参加する戦争法廃止流山連絡会は3月19日、おおたかの森駅で定例の署名宣伝行動をしました。当院や健康友の会などから9人が参加。「憲法学者が反対する中、安保法制、戦争法が強行採決されました。憲法改悪に反対しましょう」と訴え、通り過ぎようとした若者に「これが実施されたら、戦争に連れていかれるよ」と言うと、「それは嫌だ」と次々と署名しました。

友の会事務局長の加賀谷昭さんは、若い人にも戦争法や憲法改正の中身を説明し、署名をしてもらいました。「安倍さんが4選なんてとんでもない」と怒る人もいました。1時間の行動で31筆の署名が集まりました。